

吉里吉里忌

ふるさと山形 川西で
井上ひさしを語り継ぐ

©落合高仁

開催

2025年

4月20日(日)

【会場】川西町フレンドリープラザ《全席指定》

時間◆13:00~16:15 (開場 12:30)

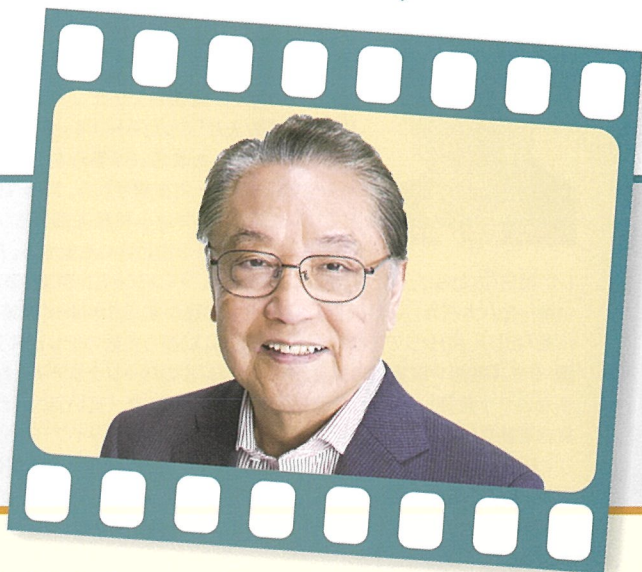
参加料◆2,000円(税込)※18歳以下1,000円

第1部 / 講演 《ビデオ出演》

「てんぷくトリオ時代の 井上さんの思い出」

伊東 四朗 (喜劇役者)

【聞き手】古屋 和雄 (元 NHK エグゼクティブアナウンサー)



第2部 / 対談

「物語を書き続けて ——いま戦後80年に想う」

【対談】赤川 次郎 (作家) × 山口 昭男 (井上ひさし研究会会長、編集者)



◎ 2025年1月24日(金)よりお申込み受付開始 ※定員に達し次第締め切らせていただきます。※お一人様5枚までお申込み可能です。

■主催：吉里吉里忌実行委員会 / 山形県川西町 / 井上事務所
■後援：日本ペンクラブ / 日本劇作家協会 / 日本文藝家協会 / こまつ座 / 文藝春秋 / 新潮社 / 講談社 / 集英社 / 岩波書店 / 中央公論新社 / 小学館 / 白水社 / 筑摩書房 / 河出書房新社 / 家の光協会 / 平凡社 / 光文社 / PHP 研究所 / 早川書房 / かまくら春秋社 / 毎日新聞社 / 読売新聞社 / 朝日新聞社 / 河北新報社 / 山形新聞・山形放送 / 東京新聞 / 仙台文学館 / 市川市文化振興財団 / 県立神奈川近代文学館 / 鎌倉市芸術文化振興財団 / 一関・文学の蔵 / 吉野作造記念館 / 岩手県大槌町教育委員会 / 山形県

お問合せ
お申込み

川西町フレンドリープラザ

〒999-0121 山形県東置賜郡川西町大字上小松 1037-1

TEL.0238-46-3311 FAX.0238-46-3313

E-mail. ticket@kawanishi-fplaza.com

プラザのホームページは右記>>>
QRコードからもご覧いただけます。



第11回
2025

きりきりき 吉里吉里忌



©落合高仁

ふるさと 山形 川西で
井上ひさしを語り継ぐ **2025年4月20日(日)**

吉里吉里忌は、2010年4月9日に永眠した井上ひさしを偲ぶ文学忌です。
毎回井上ひさしと縁あるゲストがさまざまな視点から井上ひさしを語ります。
ぜひおいでください。



総合司会
古屋 和雄

時間 13:00~16:15 (開場12:30) ※全席指定

◆参加料 / 2,000円(税込) ※18歳以下 1,000円

◎2025年1月24日(金)より受付開始 ※定員に達し次第締め切らせていただきます。

第1部 講演《ビデオ出演》

※事前収録での映像
出演となります。

「てんぷくトリオ時代の 井上さんの思い出」



伊東 四朗 (喜劇役者)

1937年(昭和12年)東京都生まれ。87歳。
58年軽演劇の石井均率いる劇団「笑う仲間」に
参加し浅草松竹演芸場でデビュー。61年三波
伸介、戸塚睦夫と「ぐうたらトリオ」を結成。62年
「てんぷくトリオ」と改名。65年日本テレビ『九ち
ゃん!』でレギュラーに抜擢される。75年TBS『笑
って!笑って!60分』では小松政夫演じる「小松の
親分さん」との絶妙な掛け合いを見せる。76年テ
レビ朝日『みごろ!たべごろ!笑いごろ!!』では、「ベン
ジャミン伊東」の名で唄
い踊ったバカバカしい「電線音頭」で世間を騒がす。
83年NHK連続テレビ
小説「おしん」のシリアスな父親役を演じる。以後も
多数のテレビドラマ・映画・クイズ番組や歌番組の
司会、そして、ラジオのパーソナリティとしても
多彩ぶりを発揮している。八面六臂の活躍の一方
で、「笑い」にこだわった舞台を創りだしている。
97年伊東四朗・三宅裕司コントライブ「いい加減
にしてみました」(2002、2010にも上演)04年「伊
東四朗一座旗揚げ解散公演」24年「熱海五郎一
座」に出演、好評を博す。不定期ではあるが、年
一回は舞台に出演。「喜劇役者としてのこだわり」
を持ち続けている。
芸歴66年の「喜劇生」(きげきせい)
主な著書に『この顔で悪いか!』『この顔でよかつた!』
(集英社)、『ボケてたまるか!』(ホーム社)など。

聞き手

古屋 和雄 (元NHKエグゼクティブアナウンサー
文化外国語専門学校校長)

第2部 《対談》

「物語を書き続けて ——いま戦後80年に想う」



赤川 次郎 (作家)

1948年、福岡県生まれ。
76年、「幽霊列車」で第15回オール讀物推理小
説新人賞を受賞し、デビュー。作品が映画化され
るなど、続々とベストセラーを刊行。「三毛猫ホ
ームズ」シリーズ、「三姉妹探偵団」シリーズ、「杉
原爽香」シリーズ、「鼠」シリーズ、「三世代探偵団」
シリーズ、『セーラー服と機関銃』『ふたり』『怪談
人恋坂』『幽霊の径』『記念写真』『死者の学園祭』
『余白の迷路』など、著書は650冊を超える。2006年、第9回日本ミステリ
ー文学大賞、16年、『東京零年』で第50回吉川英治文学賞を受賞。



山口 昭男 (編集者・評論家)

日本ペンクラブ会員、日本ジャーナリスト会議代
表委員、井上ひさし研究会会長。1949年東京
生まれ。73年東京都立大学経済学部卒業。同
年、岩波書店入社、雑誌『世界』編集部配属さ
れ、88年~96年編集長。2003年~2013
年代表取締役社長。出版界にかかわりながら、評
論活動を続ける。現在、中央経済社HD常勤監査
役。著書に『辻井喬=堤清二 文化を創造する
文学者』(共著、平凡社、2016年)、『メディア学の現在 新訂第2版』(共
著、世界思想社、2015年)など。



お申込み・お問合せは下記まで

川西町フレンドリープラザ・運筆堂文庫

〒999-0121 山形県東置賜郡川西町大字上小松1037-1

電話で ▶ **0238-46-3311** (月曜を除く9時~17時)

FAXで ▶ **0238-46-3313**

E-mailで ▶ **ticket@kawanishi-fplaza.com**

※資料は川西町フレンドリープラザ公式ホームページからも入手できます。
<https://www.kawanishi-fplaza.com/>



@kirikiri_ki_HI



井上ひさし「吉里吉里忌」

